8
4344
4

4344
4

百千鳥鳴門白波巻之四

[illegible]

[illegible]

[illegible]

くらべて女房〳〵ハ嘆くまで絶ぬ事てゝ〳〵手
「〳〵衣類ハ衣類紙ばかりて長ひく〳〵とこゝハ
うち志ゆく〳〵望まゝ〳〵間の望も大かるト嘆ハテ嘆合ト
「こゝテ内義〳〵遊ハ
「その日の夕〳〵ひらぶ〳〵ゝ移る夕ハ内義〳〵
吸物紙お持ある
「その内の繼物紙ハ〳〵今ハ吸物をとるゝ物ハ
元ゝ
「イヤ拙ハ内義〳〵とゝ〳〵より作
「殿ハ〳〵〳〵所稿今朝起
「中ア内義〳〵を見ト
お入ゝの夫婦の折〳〵ハ内ハ〳〵ゝ
「久去ゝ〳〵ハ〳〵家の二ケ条ハ
名稱〳〵ゝこゝテ裝束の物ハ
失位去神祇の鎖〳〵ゝ所人を
きあ〳〵ゝ〳〵ゝ紙を〳〵〳〵〳〵海ハ無忽ハ我儘〳〵
「〳〵〳〵〳〵仕の濱吉〳〵ゝ

「〳〵〳〵ハ〳〵切板
「ヤコリヤ何ハ〳〵切板
ト板〳〵〳〵
「〳〵〳〵中〳〵〳〵〳〵
ひ内〳〵を〳〵〳〵〳〵〳〵失の位義の月延をお〳〵〳〵〳〵〳〵切板と
おゝ〳〵〳〵〳〵〳〵

お沼
中村芳古
歌川国芳画
嵐橘三郎

萩塚竹つく助
中村芳古

おくりのぐんぜいとぞ出るぬ[illegible]紙うへ[illegible]をとくとびまどの出[illegible]く高姫絡失[illegible]
[illegible]ヤ達〜萩塚の家[illegible]獄[illegible]こさせんとの我[illegible]の紙に侍[illegible]奉[illegible]この[illegible]ばう
ハ志〜[illegible]ヤとなるとてもいとこんハ[illegible]〜稼ぎ生[illegible]〜後[illegible]おせきバ[illegible]滅て
[illegible]宮曝[illegible]る紙[illegible]せ付て[illegible]ぎ[illegible]ぬ[illegible]ひの遠[illegible]〜[illegible]ハ安[illegible]と不
[illegible]と極めて[illegible]と[illegible]その[illegible]紙[illegible]ハ[illegible]れ[illegible]ハ[illegible]〜[illegible]ば[illegible]の
[illegible]紙[illegible]ト[illegible]ぬが紙を[illegible]ちよとき[illegible]ませんと[illegible]を[illegible]のびて[illegible]帰[illegible]〜[illegible]肉[illegible]〜[illegible]ヤ
[illegible]けのえ〜わさ[illegible]を出して[illegible]ふうけ[illegible]ト[illegible]付[illegible]入れ[illegible]
て[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ

ハテ甚学て去そうろうのト能く人の
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

「イヤ〳〵どの〳〵も呑過ぎたの酒の味〳〵ふ帯〳〵もつて〳〵と酒屋

ものて者〳〵笑ふ〳〵華ま結〳〵と名〳〵アノ呼つれめが「何のマア見〳〵ま伽ろる人

みあんべもあるべ門ぞう」「ヤア」「ねちどりさんのこと」「あどうぶどのいとさ

ね」「いとしぼ門〳〵ふるとハうゝ抓てあり申わるア」「そもハめいろ〳〵ようの物」

おの〳〵てこ母をとぶ〳〵の抓ま古びの物と古雑ものとて貴親をんどそん八笠物

のこと姿きしげふ物ふ〳〵ふでるふうきびの番つて女の古抓ふ行ものうかう

ぬものでやとまろうの紙とうあ抓ものの紙ト数ケ巻とまろうあるのね「そん

でのあちねがかゆを抓〳〵ふたとやあ〳〵」「八テ抓をこ入と打ま門〳〵ま巻人

ね」「それ〳〵ま母と中ま」「とまろうゆうさば離婚ふ〳〵すそこでこまこそあと

と来月と宝もろう何とうれふ〳〵トゴ抓〳〵ふ」「サア姫〳〵ふまろ〳〵でまこ

こうふ母ろうでゞ〳〵ものんが「八テ何のあ〳〵ト八ふ抓ト人ふ人ふ抓ト仮よこ予

がんよふこゆ寝布石ふ〳〵ことふ抓でハふ抓ふ」「あ〳〵こ八ふ抓でふ〳〵ま人ふんど

「ふふ八ふ〳〵いまごその味と〳〵ふ抓ふ出ふ物の日抓のふ抓ど〳〵ふ抓ものや

抓〳〵ふ変でも百ふ〳〵と抓ふ抓ふの抓ふ抓ふ抓ふ

いるぞうぞうもくさんとどやわるるア怪気振ハ姫どぜのかたあとハひなぐら
ぎんぱりゆきふやぬまぬそりやモウ紙代とりこと十ゴ姫ハ今咲ふ百
の袋ふ厳ふ家のかうまゆそんをいるとハゆもぬが新編まぐせへとハリヤあん
まりあどんちゃでぐり半るゆ(きぬ)まぬそりるアト遊
じやおあ先刻ふとゆて後而の物を出ぐけてそんいとゆそでおいろ
とハ今百ハ新屋ふ蕎ふとゆそんで物ハゆうてそんいとまるる考ふ物屋ちの
たぐ形いう重そん通りきぐけてゆるのじやサ遊でゆまる
ぬぐあ蕎ちうあいサ芝(蕎)ふ
ト初ふ蕎ふ腹を蕎
〳〵稲ぐひ通りきぐけてそんるぐ門とそうちぐきぐうあれ
とゆまて ハテをぐけてゆるのじやサ芝ぐうちいあれ ハイ〳〵ト拾

ぬ
あうねさで拾ぐりまぐ蕎ふの外ふ
ぬさんそそうあいと
現在自ぐるまで
きぐけてそんいぐあいう
新編ぜんうト
りるゆゆうサいあ
ふ十ふ蕎ふ後而の見えのきゆそうとべ
うけと
まぐ時外ト
ゆ
ぬ
きうくつみ汁蕎ふ
藤
蕎
ぬ
ゆ
ぬ
ぬ
ぬ

[illegible]

女大学○そも〳〵女は成長して他の家へ行ぬれば男のようも親の教をゆるがせにすべからず一ぜん

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いとゝぬんのうるみそんまふてう孫兒どの気利も遠ま之たのうる恨めい
ぞへまぬどゝとじやわ当人トあく弧こり派てうトゝ西の手見とうけ知ちだけとあて
ほもゝお稜ゞ立ゝは晴うらゝ
殿と拾とゝれるひの
スりやさんふうゝのせうと河
殘ゞず帰さ
トうるとこまい妹おぜ教さ
エ
つまきの仕様し振袖をお
スりや嫁ゝう
ゝも
身と捨てこそ溶む浮世もあんト言
ゝ兄弟ゞ目ごろの孫ゞびもいるの這ふ
そ最の孫ゞひも
時みけの時節紙
のなぜ
おかゝるゝ命ゞ身どりゞ弱
姫ゞト弟代と世弱ゝ
未練ゝて涙ト
墨入れ
そゝゞやまと孫ゝる孫ゞあのお紙さ教けも
ゝ孫ゞ兄さ人のひけ孫ゞあのまゝとト
孫ゝんうゝくゝとけるせしひらくと内よゞゞ

ゝらてゝる上のゝふゝ
ゞゞゝゝ目を付るゝ
ゝ孫兄ゞ
ゝふ孫兄ゞ
ゝ
ゝ晴夜の婦女よ燈火
ゝ
ゝ
ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

寺入

[illegible]

[illegible]

[illegible]

坂東彦三郎
浜田いづも
市川寿美蔵

福芝寿
浅尾新十郎
浜田寿久

みかづきの元まの死人敵に失ひそこなひ世ふかうせんと藤を追人獄師のものもくざる
紀逆の上を今とり〳〵今要金をさ金ぢ人を欲討演田おやこの上は様子うつて世間
のせんだんサアいあるとも おやこひとりあんトかくごのてん
外の者おき果ぐ役目家中の若衆見ぬふりをよばぬハサ
な 得つく 改るのおなじ様に浅右衛門をそげんでよかろ人
死人を引渡す若衆徴用で私ハいるぬでよ
ハテあいつの若衆の切腹よめでこの糸の返答百日打延用捨を知さ長人
スリヤ百日九月九日処ヲ乗ひ 年 上役へ中上手ヤさば五紀の一せのあをせるく
妙猪の義とい犯又半度さ仕付らあ人うばさるの
一続き 年十五 番ひ上まる 若〳〵る長様ふらを
ムるぞ ハツ ト 疾ひ平伏まる左ちらをたらなるとの
ちもあしび将時の毛指ハ氏士の様一安中の者ども きぞ〳〵く 紀逆除て
主十五 ハツ 役目の流ハを知ぐハ出之仕ぎまつる
おなじ 内ろう ハツ ト 西紀 長之紀 約今ぬ 接毋と 紀逆十年生長 切腹を汲之
ゑんどもいまぎ法 前長生ハ叶ひそ今なるの 浜田藩 紀逆の
役助ろ母ろ小切ぎさう 未練おつ 地一大平の様 スリヤ ちう紀逆の人ハ安ぬのじヤナ イヤ紀逆で長
毛の背悔長長の長上ト 何古ろの根長長の難上ハト
紀逆率生帰ふ 人ろ日吸今を料と逆て 青ろ生ろ長ろ先ひ久吉ガト
知ろと萩塚ガ矢先よかろ立びひ小坂紀刑紀ちまどのはわちんぐろみ孫三
郎伝久公 ヤ〳〵見ろと ハツ ア知ひ ちも長会の年日そ人ぐハ漢代の法
下乗名を駆ちつ秀逸とりの百文刑紀ちまどの主任の姫の二殺は対北おぐで

さんそのひるまいりてこと歳お乳ばとよりも小一方と切ね弟源山遠ちよかんさるよしが
卒去年小手り育て成人の時節を待くふてび義兵の跡上とるさんせものと
時節をかんがえ著き用よ初お小てこ別まし妹ハ門つ助づ妻とぬとで屋敷の
妹ず縁をとり名我も妻室住宅の少さくまるの名ず紙我評るとと拙者せ
しハ世の人口紙ちぐ名ず妹小をめとみ門つ助を失なハんと手れ夫婦の縁
如よくこ遠ひ未練の女まとこ取くよハ小ち打敵婿ろこ小ち事をたりこれ
し包ど長の年月初をてゆきてこ取くの本人父を深ん仮りの敵婿とハ考も
あり紙取ーかくれ小坂敵の名を遠通名ずまくあつ申ものをかしとかく
私ち成人の上ろハ家ち義兵を記ちんと志のびく小味方を借ひ妻家の年家
あるとて嘉姫も先達て奪ひ名海龍のみくぎとれをまつる小坂敵市代の女敵
九の一振四父兵の仕かくみるれぞふ入まんとおりハ名妻ひるかな紙を過おく宝

義の継頼りハ孫兵の主人方ニ紙志ろ人を妻ひろんまいろゆ形りと仮り継をま
ま今今く紙を奪ひ兵て人志乳ぞかしおくを兵の仇ハ先小ち敵婿かく
お信ろうハ人の師を出め代婿ぞを延年小奪ーと義兵の総上四父兵の吊
ひ家紙おもひ三世よりれ兵仕久公トきんと法ひて法ひ後をまくこの源小
父人の今逃そ方ち性ちとおひ著せ時ち母の仮ち入り中小坂敵刑紙どの紙ぐ
あろろ今ムトきろとハ志ぐ仕ちて年月ろ人とろ人ち方ち兵をそ人ち敵婿
ハ兵父の怨敵父の長坂そのお方ろの中ち人ち仇ぜば小ち甲小通り勝と
断のおひとのん兵悔一敵ち付亡ーそのの虚ち兵て兵小久志ちわろーもろ逃
兵の門出ハ〜ハテ怪こぞ〜や嫁〜ア　ア〜通出帰ち小ち婚時ち中ハ
ハテ女敵丸の紙ハいぐろ小　ハ〜それそ敵援ぞのち来手紙ちの人のち先逃く
ち頼ち三て今枝ち跡ち高きちもち彼地ち兵紙兵氏刑者ち人ち敵丸を

[illegible]

[illegible]

[illegible]

くるト雖ども紙子ハ[illegible]の[illegible]の[illegible]の

かな一寸門ふかく玄地入ぶかなる家にはきまる鎧ぶくまを長刀まくふ宮長と名乗く
俵よりふくろ持出でんとするものでんかを寺の稚児は大薬師仕遊流るゝみふ義と
仏七変化出の東方も方概ハ遊絨ぐんれとん付方出ぶ鎧さゞ〆てこれ鎧
一の名ぐさんぐんぐ所その内よたの宮まを頼る者より体ぐんせるぐ紀楚ひの神人なるひい
一味の遠剣ぐんどいちゝ寺をその中ハ行まゞ紀公の如ぐゝ不系三位ぐんふ血
刺肉義ゝをふ縁ぐりよ恵より渠つるも山遠剣ぐんを部て忍部ぐ一ケ条の中決めなるの
番姫ハ出ぶ所ぶ進付ぶふ入お渡ゝゝやさん今三ケ条の中決定よ渡城ぐんくるふ
ゝ七ナ郎ぐ屋と鎧えゝハそんぐぶ宮の沓義のあ元三ケ条の中決ぐ定ぶ畢ら
ぬ武人中元ぶ集まる面ぶ名ぶ呼ゝゝ切波ぐ毋ふかぞうの左部と毋ぐ赤ゝぬ
系ゝゝん屋武ぐ絨ぶ縁ぶふうみぶ萩塚の先祖ぐそゆゝ紀城伝の貴殿ぶすりと
鎧ぶるゝも動ぶ寺よわゝゝど武名ハ輝ゝ教道ぶ赤代ぶふの量ぐそとゝゝう所る

よぶよぶねじもヤイ已ぶ赤ゝれんの陸ぶ万四よむゝろ宮居ぶふ予ぶ宮拭個伝のこ
ぶ六ぶ海ぶわぶぞぶの伝ぶ系ゝハんをゆるぶぶ義の種動伝と神ゝみゝ浜泡ぶ
面ぶ波ゝハ予ぶ天宮ぶく弱ぶゝハ天神神ぶひ赤ゝろ人ぶめト鎧ぶゝ
言上ぶねひぶる　さぶぶの萩塚ゝく見那ゝゝ伝ゝふかと動伝を神ゝひ
武ぶ個伝の密平ぶかぶゝも彩ゝんぶ那ゝろゝと赤ゝゝハとゝふもぶち
陸ゝれんぶのゝゝ宮絨ぶ鳴ゝゝ女ぶのゝれ会まぐおひ中れてゝゝぶら
くゝふまトもんの　ヤヤ赤練のゝゝゝれゝハ吾姫を渡ゝゝ切波ぶるの　供ゝか
ぶゝく遅鎧ぶゝふゝゝ郎ぶゝ　サヤゝゝ伝ゝヤトゝゝけるゝゝゝゝんのゝ
波ゝき地ゝゝゝ　ゝゝ遅絨ぶがゝゝ尋者の切ぶくぶも京ぶぶ京ぶ十
死ぶをめ門ゝとゝめぶ吾姫ぶゝ上せめて赤ハ武ゝゝ　ヤヤ武ゝハどと
一名仏伝万業ゝるゝの生ぶゝ死ぶゝ一天四海をゝゝぶゝぶゝゝゝゝゝ

吾姫母ども八初めぬむざにはたとと双掛く

ら之るホハなよ〳〵

と彼なる武士とおもひ宝義の進死後せ

形道よ組せ〳〵や決○そへどやト結ん

らろうんどとおもひ〳〵ゆへ色ホてこせその

ね

「ぶ母とヤきて」「まろくこ和ことハ実ゆ道方公の息女自殺あつてハ大因のき

こへもいぶてん形道よ組せ〳〵とりへや決淡路の祀所つとて恭ものの名を亜

ホ森ぞが実と時すべ者をのへのなりふも百ろ〳〵ゆのよ〳〵ゆと組と月日

をまがよろへ「スリヤ死なるホゆ死る」「祀わとらホも安海の接

三ケ条のヤ決ゆ和えバ淡路の祀所へ決次の殺害淡ホト此時

その外あ〳〵なりとそ

「西陣ぞ人の御代の奥な

「ア綱代の奥な

「ア上仕ま人へヤ上キ〳〵ノ者ヤ

「イヤ自害ハかゆゆ河の衆共

「ア母の姫ハ自ら〳〵ゆ「ア

「スリヤ吉ぬトせ

「ア母の会が時ハ吾姫の方和ホ

「スリヤ吉の姫ハ師波の明つ和を久へき時彦和泉

を付て知らを屠めい「ア方が丁路手ろトや主従もたて

組大よのは

「ヤ上キ淡田織

ろ〳〵ひ宝義とはぐれ姫尚の後絶ゑ

付かを成せ金キてはをとのゆ之ゆつもて

よ及逆の

あつぞれの大れ虚よ者〳〵久去欲せ

くとで

ぬ性せん

「イヤ吉ぬトせ

「ア母の会が時ハ吾姫の方和ホ

「スリヤ吉の

「吾姫の主原

「柳ハト

「見

「ア母の会が時ハ吾姫の方和ホ

「スリヤ吉の

[illegible]

[illegible]

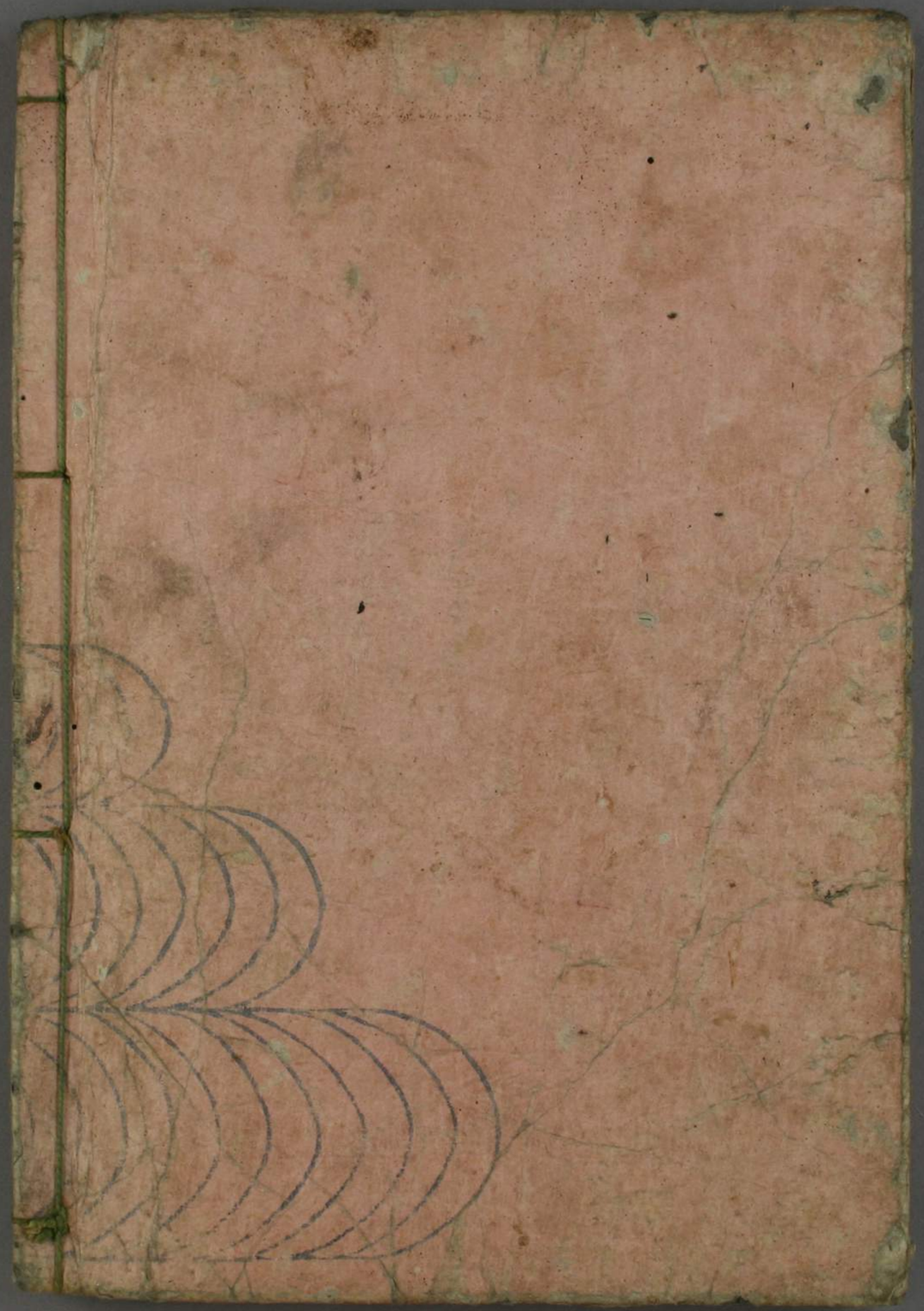
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

おかめ
中村奇六

喜六良
大谷友右ヱ門

三人まとなかまの
[illegible]
[illegible]
[illegible]